

長崎大学後援会より ガーデンテーブル寄贈



学生の利用風景

9月28日、長崎大学後援会（吉見龍一郎会長）より、「学生の生活・学習環境整備事業」の一環として、ガーデンテーブル5脚が寄贈されました。ガーデンテーブルは、学生支援部職員により組み立てられ学生支援センター周辺のフリースペースに設置されました。学生にはとても好評で、早速利用し仲良く談笑する姿や、昼食時には軽食をとる姿が見られました。

2棟目のサークルセンターが完成

文教キャンパス内に2棟目のサークルセンターが完成し、10月18日にオープニングセレモニーが行われました。

セレモニーに先立ち、今回入室するサークルの一つである、「よさこい部 突風」によるアトラクションが披露されました。

オープニングセレモニーは、齋藤学長、福永理事、三宅理事、菅原副学長ら関係者約60名が出席してテーブルカットが行われ、その後、施設見学を行いました。



テーブルカットの様子



サークルセンター

ベン・ングバネ駐日南アフリカ共和国 大使が学長を表敬訪問



表敬訪問時の記念撮影

10月30日、ベン・ングバネ駐日南アフリカ共和国大使が齋藤学長を表敬訪問しました。医師で公衆衛生の専門でもある同大使は、本学や長崎県、長崎市他と南アフリカ共和国の人的交流、学術交流の促進のため来崎されたものです。

学長との懇談は、同行のグーラム・ダークウッド一等書記官とともに松岡理事を交え、開発途上国における熱帯病感染症研究、放射線被ばく医療及び海洋環境資源研究等について和やかに行われました。

「よさこい部 突風」大賞に YOSAKOIさせば祭り



「よさこい部 突風」

10月27日から29日にかけて開催された、第9回YOSAKOIさせば祭りにおいて、本学の全学生団体「よさこい部 突風」が、初の大賞に輝きました。佐世保市宮地町の名切お祭り広場をメイン会場に開催されたYOSAKOIさせば祭りは、九州最大規模のよさこい祭りです。今年では過去最多の146チーム、約7,000人が出場しました。「よさこい部 突風」は、一次審査を突破した20チームの中からファイナルステージにおいて、見事初の大賞に選ばれました。

学長賞授与式を挙行

11月9日、学術研究活動、課外活動及び社会貢献活動において、学生6名、大学院修士生1名、学生団体3団体に学長賞が授与されました。

学長賞を授与された学生、大学院修士生及び学生団体は次のとおりです。



授与式風景



授与式終了後の記念撮影

学術研究活動

表彰事由

マテリアルライフ学会論文賞受賞

氏名

生産科学研究科 畠山 潤

課外活動

表彰事由

第47回全九州学生空手道選手権大会男子組手「優勝」

氏名・団体名

全学空手道部 中村 隼人

第53回九州国公立水泳競技大会男子100m バタフライ「優勝」、男子200m バタフライ「優勝」

全学水泳部 中村 聖宏

第53回九州国公立水泳競技大会男子200m 個人メドレー「優勝」

全学水泳部 馬場 健太

第53回九州国公立水泳競技大会女子400m 自由形「優勝」

全学水泳部 大賀 清花

第56回九州地区大学体育大会男子400m「優勝」

全学陸上競技部 奥 博志

第49回九葉連総合大会「優勝」

薬学部準硬式野球部

第50回全日本カッター競技大会「第3位」

水産学部男子端艇部

第50回全日本カッター競技大会「優勝」

水産学部女子端艇部

社会貢献活動

表彰事由

ひったくり事件における犯人検挙に貢献

氏名

医学部医学科 筒井 麻衣

「世界保健ニーズにこたえる医薬品研究開発のためのディプロマ・コース」を開催

10月2日から11月8日まで、熱帯医学研究所において、世界保健ニーズにこたえる医薬品研究開発のためのディプロマ・コースが行われました。

このコースは、主に途上国に蔓延する感染症などの重要性を考慮した医薬品研究開発に携わる人材の育成を目的として、長崎大学をはじめとする4ヶ国(日本、タイ、中国、コンビア)6大学と世界保健機構(WHO)、日本薬学会の連携により、医薬品開発に関するプロセスを国内外の大学、官庁、企業などの第一線の専門家総勢61名の講師が5週間かけてすべて英語で講義を行うもので、11月8日の修了式では齋藤学長より全コース修了者11名にディプロマ(修了証書)が授与されました。



ディプロマ・コース修了者を囲んでの記念撮影

放射線影響研究所と「教育及び研究等の協力に関する協定」を締結

11月10日、本学と財団法人放射線影響研究所(広島市)との教育及び研究等の協力に関する協定の調印式が行われました。

事務局第三会議室において、本学から朝長医歯薬学総合研究科長及び関根医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療施設施設長、放射線影響研究所側から寺本常務理事及び赤星長崎臨床研究部長の立会いのもと、齋藤学長と大久保理事が協定書に署名を行い、協定が締結されました。

今回の協定は、放射線影響に関する教育及び研究等を協力分野として、具体的には、教育・研究及び被ばく者医療等に関すること、研究者、教職員及び学生並びに研究生等の交流に関すること、研究資料・刊行物及び研究情報の交換等に関することについて共同研究・事業等を推進します。



調印後に大久保理事と握手を交わす齋藤学長